

分野		科目名		配当年次		開講期		
専門分野Ⅱ		成人看護学Ⅲ		1 年次		後期		
単位数		時間		担当教員		実務経験の有無		
1 単位 (30 時間)		運動器 16 時間		外山 忍 専任教員		有		
		消化器 12 時間		大島 ゆかり 専任教員		有		
		消化器 2 時間		滝川市立病院 看護師		有		
授業 の 概要	・成人期に起こりやすい運動器・消化器系の疾患や治療、回復のメカニズムを支える主な看護を学ぶ。 ・疾患や治療が対象の日常生活に与える影響と、その人らしく生活できるための看護を学ぶ。 ・手術を受ける患者への看護を学ぶ。							
到達 目標	1. 運動器系疾患の病態生理、検査、治療を理解する。 2. 運動器系疾患が日常生活に与える影響を理解する。 3. 運動器系疾患の手術前後の生活を整える看護を理解する。 4. 手術を受ける患者の生体侵襲と術前後に必要な看護が理解できる。 5. 代表的な消化器疾患(胃がん・大腸がん・肝硬変)の病態生理、症状、検査、治療が理解できる。 6. 疾患や治療が対象の日常生活に与える影響と、必要な生活指導が理解できる。							
授業 計画	No.	授業内容				授業方法	備考	
	1	大腿骨頸部骨折の患者の看護 術式、術後の看護				講義	外山	
	2	変形性膝関節症の患者の看護				講義	外山	
	3	脊髄損傷の患者の看護				講義	外山	
	4	運動器疾患の看護技術（松葉杖・包帯法・ギプス・牽引）				講義・演習	外山	
	5 ～ 8	大腿骨頸部骨折の患者の看護過程演習①～④				演習	外山	
	9	麻酔や手術による生体侵襲、術前看護				講義	大島	
	10	術後の生命過程、術後合併症、術後看護 消化器疾患患者の特徴と看護の役割				講義	大島	
	11	がん細胞の特徴、予防の考え方 胃がんの病態生理、主な症状、検査、治療、手術前後の看護 日、常生活へ与える影響と生活指導				講義	大島	
	12	大腸がんの病態生理、主な症状、検査、治療、手術前後の看護、 日常生活へ与える影響と生活指導				講義	大島	
	13	肝硬変の働き、病態生理				講義	大島	
	14	肝硬変の主な症状、検査、治療、看護 日常生活へ与える影響と生活指導				講義	大島	
	15	ストーマを造設した患者の看護				演習	看護師	
	評価	筆記試験、消化器 100 点・運動器 100 点の合計 200 点のうち、6 割以上（120 点以上）で単位履修とする。						
	参考 文献	1. 堺 章：新訂 目で見えるからだのメカニズム 医学書院 2000 2. 中村恵子：看護ケアができる疾患別看護過程 大腿骨頸部骨折 プチナース 16（1）2007 3. 菱沼典子：看護につなげる形態機能学 メヂカルフレンド社 2012 4. 増田敦子：解剖生理をおもしろく学ぶ 改訂版 サイオ出版 2015						
備考								